

関東ふれあいの道を歩く 東京 ②鳥のみち

2020年 3月 25日 池内淑皓

2019年12月6日(木)曇り 寒い やっと雨も上がったので ②鳥のみちを歩く事にした。
今回「②鳥のみち」は一旦高尾山、小仏城山へ出て陣馬山に向かうのであるが、城山までのコースは、前回の「①湖のみち」と同一ルートであるから面白くない。しかし景信山、堂所山、陣馬山から陣馬高原に出る道は桜の咲く頃となれば、関東ふれあいの道でも屈指の人気コースであると言う。残念ではあるが、今日は冬枯れの寒い日に歩く事になってしまった。



高尾山口駅から高尾山まで概念図

(首都圏自然歩道連絡協議会)



今日の出発最寄り駅は、京王線高尾山口駅 早朝のためか人影はまばら



今日の行程は長いので、ケーブルカーを利用して高尾山へ向かう



ケーブルの始発は8:00。もう並んでいる人が居る、彼らは頂上にある茶店の人たち



12月なのにまだ紅葉がまばらにある



今年は暖冬のせいか、紅葉が遅い気がする



ケーブルを降りて高尾山に向かう途中に「蝸杉」がある。
樹齢 450 年と言うから、江戸時代の初めに植えた杉だね、高さ 37m、目通り 6m



京王電鉄寄進の常夜灯を頼りに薬王院に向かう



薬王院への山門を潜ると、木々も色づいて来た



「高尾山薬王院」朝が早ければ参拝者も居ないから、落ち着いてお参りが出来る



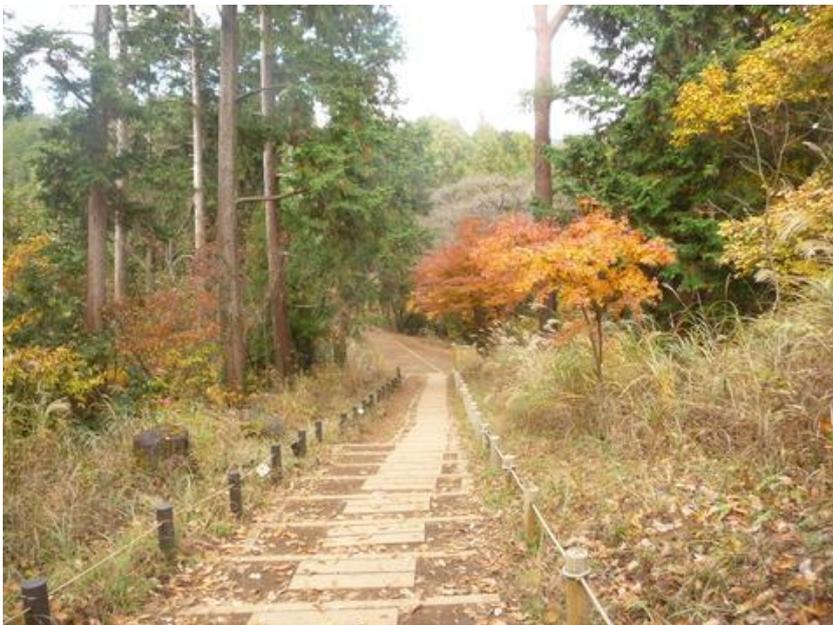
ここまで来ると、紅葉も美しい色合いになっている



「高尾山頂上（599m）」朝の8時であれば人も少なく、茶店も開いていない



曇りベースであったが富士山が見えた



休まず一気に小仏城山に向かう



「小仏城山 (670m)」 10:00 着、人はいないね、茶店の人もまだ来ていない



路傍に里程標があった、陣馬高原まで 12 km もある。ひっそりと置かれているのが嬉しい



「小仏峠」旧甲州街道の峠道。明治天皇が全国巡行の砌、ここで野立てをした所



江戸時代にはここに小仏が置かれ、小仏峠の由来となっていたが、今はなんと信楽焼きの狸親子が置かれている。小仏は下の集落、駒木野に移されたと云う



「景信山（727m）見晴らしは良いが、少し靄が掛かっている、富士山もかすんでいる。ここで仰天、陣馬高原からのバスは、がけ崩れのため運休との事、がっかり。



仕方なく堂所山（731m）を往復する事にした。北斜面は笹藪の茂る高原状の尾根だ



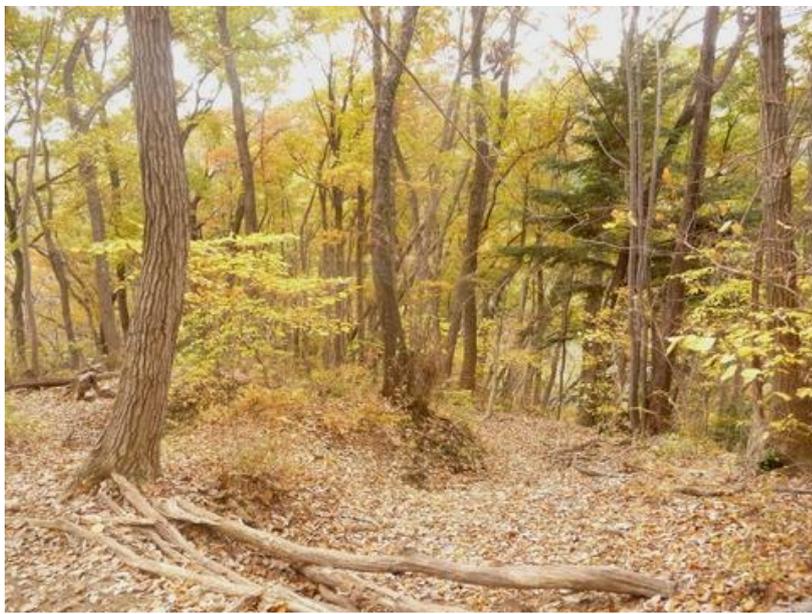
小下沢へ下る道も林道崩壊で通行止めとなっている



「堂所山（731m）見通しはあまり利かないがここまで1時間、快適な尾根の散歩が出来た。



再び景信山に戻り、ここから小仏バス停に戻る事にする



馬鹿にできない素敵な雑木の尾根を一気に下る



景信山から 40 分程で到着する、バスは一時間に二本出ているから安心できる



「JR 高尾駅」JR にはユニークな駅だね、明治 34 年中央線浅川駅として開業、昭和 36 年「真言宗高尾山薬王院有喜寺」から高尾と改称した。

現在は高尾山ハイキングの代表的な登山口となっている。

[参考タイム] 高尾山口駅 (7:07) →清滝ケーブル駅 (7:20-8:00) →ケーブル駅 (8:06) →
高尾山頂上 (599m) (8:36-8:40) →小仏城山 (670m) (10:03) →小仏峠 (10:30-10:35)
→景信山 (727m) (11:15-11:45 昼) →堂所山 (12:45-12:55) →景信山 (13:50-13:55)
→小仏バス停 (14:43-15:10) →JR 高尾駅 (15:25 着)

この項 完

「関東ふれあいの道を歩く 東京 ③富士見のみち」に続く